

喜多能楽堂新装開場記念

品川こども劇場  
こども劇場せたがや

合同鑑賞会

能楽堂で楽しむ

泉鏡花の世界

いずみきょうか

うたあんどん

歌行燈より玉之段

じょうるり

浄瑠璃×

球体関節人形

竜潭譚

りゅうたんたん

令和七年

五月十八日(日)

午後二時開演  
(開場午後一時)

3,500円  
(全席自由・高学年以上)

十四世喜多六平太記念能楽堂(喜多能楽堂)

じゅうよんせいきたろっぺいたきねんのうがくどう



お問合せ

● NPO 法人 品川こども劇場

☎ 03-3474-0101 ☒ info@shinageki.org

🌐 https://www.shonageki.org/ 📷 shinagekigram

〒140-0001 品川区北品川 2-32-3 六行会総合ビル 1F (品川図書館隣り)

● NPO 法人 こども劇場せたがや

☎ 03-6804-4425 ☒ info@kogeki-setagaya.org

主催： NPO 法人品川こども劇場 NPO 法人こども劇場せたがや

共催： 公益財団法人十四世六平太記念財団 後援： 品川区 品川区教育委員会



「高野聖」「婦系図」「夜叉ヶ池」等々、明治から昭和にかけて独自の境地を開いて数々の名作を残した作家、泉鏡花(1873-1939)は、母方が能楽師の家柄だったことから、作品の題材や構成に能の影響が指摘されています。

この度の鑑賞会では新装開場する喜多能楽堂に、ラストラダカンパニーによる泉鏡花作「竜潭譚」上演の企画を提案したところ、能に縁の深い泉鏡花作品を能舞台上で上演することでもありと、能楽喜多流でも「歌行燈」のクライマックス場面を再現する試みを企画してくれました。また泉鏡花研究で知られる清泉女子大学の藤澤秀幸先生からお話しもいただきます。こどもから大人まで能楽堂で泉鏡花の世界を存分にお楽しみください。



## プログラム

### ●お話し

藤澤 秀幸 (清泉女子大学日本語日本文学科教授)

泉鏡花研究者として知られる藤澤先生に、鏡花と能楽について、また本日の上演演目についてなどのお話しをいただきます。(30分)



### ●小鼓+謡+舞 「歌行燈より玉之段」

能役者の恩地喜多八は謡の上手を鼻にかける按摩の宗山を芸の試合で懲らしめて憤死させたことから養父の名人、恩地源三郎の怒りをかい破門、以来喜多八は門付けに身を落とし桑名に辿り着きます。

その夜桑名の旅館に芸妓お三重を呼んだのが源三郎と鼓の名手雪叟の老人二人。お三重に玉之段の舞を所望しますが、そのお三重は宗山の娘、そして密かに舞を仕込んでいたのが喜多八でした。雪叟の鼓に源三郎の謡、そしてお三重の舞。宿の外から声を合わせる喜多八の謡に宗山の霊も浄化されていきます。

神品とも称される鏡花の最高傑作の一つ「歌行燈」のクライマックス場面を今回特別に舞台上に再現します。(15分)

【出演】 小鼓 大倉 源次郎 (小鼓方大倉流・人間国宝)  
謡 高林 白牛口二 (シテ方喜多流)  
舞 高林 昌司 (シテ方喜多流)  
後見 高林 呻二 (シテ方喜多流)



### ●球体関節人形+浄瑠璃 「竜潭譚」(りゅうたんたん)

幼くして母を亡くしたちさとは、姉のいましめを破り、つづきの咲く山へ遊びにいきます。ちさとは毒虫に刺されて顔が腫れ、姉が探しにきますが見間違えます。ちさとは隠れ里に迷い込み、亡くなった母によく似た美しい女に逢い、女は子守唄を歌ってくれます...。明治29年に発表された鏡花の初期の短編小説の舞台化です。役者である古家暖華が人形遣いとして主人公の「ちさと」を。また道化師でありパントマイミストのLONTOが虫やつつじ、女まで変幻自在に演じます。三味線を弾きながら唄い、語るのは若手女流の常磐津綱鵬。本来常磐津は唄い方と三味線方とそれぞれに分かれるのですが、常磐津綱鵬はたった一人で三味線を弾き語り唄います。最小限の出演者に絞り無駄な描写を削ぎ落としたことで生まれる緊張感。その限られた空間に響く三味線の音と語りにより想像が膨らみます。空気が止まったかのような美しさと日本の美、異色の3人の競演をご堪能ください。(75分)

【原作】 泉 鏡花「龍潭譚」(りゅうたんだん)

【出演】 常磐津 綱鵬 古家 暖華 LONTO

【作品製作】 プッペンテロル

【浄瑠璃台本・演出】 木村 繁

【美術監督】 福永 朝子

【人形製作】 はちす

【照明】 Chang

【制作】 ラストラダカンパニー



● チケット (全席自由) 3,500円 (高学年以上)

● 前売開始 令和7年 4月1日(火)

● チケット取扱い

● NPO法人 品川こども劇場

TEL/FAX 03-3474-0101 MAIL. info@shinageki.org

● 喜多能楽堂

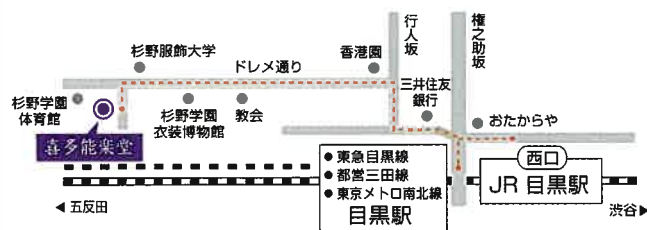
https://kita-noh.com/ (要事前登録・無料)



● 会場 十四世喜多六平太記念能楽堂 (喜多能楽堂)

〒141-0021 東京都品川区上大崎 4-6-9

TEL. 03-3491-8813



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。